網 監 査 第 30 号

令和 7 年 1 月 29 日

網 走 市 長 水 谷 洋 一 様

網走市議会議長 平 賀 貴 幸 様

網走市監査委員 藤 原 誉 康

網走市監査委員 栗 田 政 男

定期監査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 9 項の規定に基づき、令和 6 年度に実施した定期監査の結果に関する報告を別紙のとおり提出します。

令和 6 年度

定期監査結果報告書

網走市監査委員

令和6年度 定期監査結果報告

1. 監査の対象

- ◎市長部局
 - 企画総務部 総務防災課、財政課、税務課
 - 市民環境部 市民活動推進課、生活環境課
 - 健康福祉部 介護福祉課、子育て支援課
 - 建設港湾部 都市整備課、都市管理課
- ◎教育委員会
 - 社会教育部 美術館、図書館、博物館
- ◎その他部局 会計課、議会事務局

2. 監査の期間

令和6年4月17日から令和7年1月22日まで

3. 監査執行者

網走市監査委員 藤原 誉 康
網走市監査委員 栗田 政 男

4. 監査の対象年度等

令和5年度を対象年度とした。なお、事務に関連する場合は、令和4年度及び直近事務の一部も対象とした。

5. 監査の主眼

一般会計及び特別会計並びに公営企業会計に係る財務に関する事務の執行について、適正かつ合理的、能率的に行われているかという点を主眼として、予算の執行状況のほか、財産及び物品の取得・管理状況、委託業務等に係る契約事務、公金及び現金の取扱い状況（市職員が経理を担当する団体を含む）、諸帳簿等の整備状況等について監査を実施した。

6. 監査の方法

監査にあたっては、対象部局から関係資料の提出を求め、これらの書類を審査するとともに、関係職員より事務事業の執行状況及び内容について説明を受けるほか、必要に応じ現地の確認等を実施するなどの方法により監査を行った。

7. 監査の結果

財務に関する事務の執行状況については、概ね適正に処理されていることが認められたが、一部において、次のような改善等を要する指摘事項が見られた。

指 導 事 項

1. 予算の適正な執行について

消費者被害防止啓発資材購入において、現年度予算で購入した資材のほとんどが、翌年度以降に使用される状況が過去から常態化している。また、物品納入検査調書に納品状況が確認できる書類が添付されておらず、検査日等の日付にも誤りが見受けられる。適正な事務の執行に努めること。

【市民活動推進課】

2. 補助金の適正な執行について

法人立特定教育・保育施設質向上事業補助金

① 受理した補助事業等実績報告書に補助事業実績書、収支精算書等が添付されていないのにも関わらず、そのまま補助事業等検査調書を作成し、補助金等の交付額を確定しており、履行の確認がなされておらず、適正な事務・検査が行われているとは言えない。

② 対象事業となるか否かについては、基準日である当該年度の1月1日時点での判定となることから、年度末の3月下旬の交付申請が過去から常態化している。基準日（1月1日）以降、補助対象者に対し、可能な限り早期の補助金等交付申請を強く求め、適正な事務や検査時間の確保に努めること。

【子育て支援課】

検 討 事 項

1. 契約事務の適正な執行について

所在調査及び物置撤去交渉業務委託契約において、次のような不適切な事務処理が見られた。「地方自治法施行令」及び「網走市契約に関する規則」等の関係法令を遵守し、適正な契約事務の執行に努めること。

① 委託業務の完了後に、完了検査調書を作成しないまま契約代金を支出していた。

② 契約書に委託期間が記載されていなかった。

【財政課】

2. 契約事務の適正な執行について

蜂の巣駆除業務委託において、次のような不適切な事務処理が見られた。「地方自治法施行令」及び「網走市契約に関する規則」等の関係法令を遵守し、適正な契約事務の執行に努めること。

- ① 単価契約で見込み総額が 100 万円を超えているが、予定価格調書の作成がなされていなかった。
- ② 指名委員会を必要とする事案であるが、開催されていなかった。
- ③ 1 件当たりの駆除費用を設計・積算し予定価格とし、同様に見積書が提出されているが、実際の契約や支出では、1 件当たりの処理費用（実施件数）と定額の待機料に分けて支出している。事業者の不利益が生じる恐れがあることから、待機料の考え方の整理と契約方法の再検討を求める。

【生活環境課】

3. 契約事務の適正な執行について

埋立処理施設用薬品購入契約において、次のような不適切な事務処理が見られた。「地方自治法施行令」及び「網走市契約に関する規則」等の関係法令を遵守し、適正な契約事務の執行に努めること。

- ① 見込み総額が 130 万円を超えているが、指名競争入札を行わず、2 者による見積合せとしていた。
- ② 予定価格調書は副市長が作成すべきものを担当部長が作成していた。
- ③ 指名委員会を必要とする事案であるが、開催されていなかった。
- ④ 予定価格は見込み総額（予定単価×予定数量）で設定、見積書は単価見積、契約は見込み総額（予定単価×予定数量）としていた。数量が確定しないものについては、予定数量を示した上で、単価契約とすべきである。

【生活環境課】

4. 契約事務の適正な執行について

パークゴルフ場芝生管理用資材購入単価契約において、次のような不適切な事務処理が見られた。「地方自治法施行令」及び「網走市契約に関する規則」等の関係法令を厳守し、適正な契約事務の執行に努めること。

- ① 単価契約で、見込み総額が 30 万円を超えているが、予定価格調書及び見積合せ執行記録書の作成がなされていなかった。
- ② 指名委員会を必要とする事案であるが、開催されていなかった。
1 者見積による随意契約とした根拠が不明確であった。

なお、予定価格を単価で定める場合においても、予定単価に予定数量を乗じた「見込み総額」を明示すべきであり、予定価格調書省略の可否、指名委員会開催の可否、金額に応じた決裁権者の専決区分等についても、見込み総額をもって判断すべきと考える。

【都市管理課】

5. 契約事務の適正な執行について

契約事務において、次のような不適切な事務処理が見られた。「地方自治法施行令」及び「網走市契約に関する規則」等の関係法令を遵守し、適正な契約事務の執行に努めること。

へき地保育所運営管理委託契約

- ① 契約書に委託料は「別に定める基準」により交付すると定めているが、その基準を添付せずに契約書を交わしていた。

子育て支援センター機械警備業務委託

- ① 1者見積による随意契約とした根拠が不明確であった。

【子育て支援課】

6. 契約事務の適正な執行について

契約事務において、次のような不適切な事務処理が見られた。「地方自治法施行令」及び「網走市契約に関する規則」等の関係法令を遵守し、適正な契約事務の執行に努めること。

美術館空調部品交換工事契約

- ① 指名競争入札であるが、入札書ではなく、見積合せの様式（見積書）により入札されていた。
- ② 指名通知の件名と見積書（入札書）の件名に相違があった。

冷暖房設備保守点検業務委託契約

- ① 1者見積による随意契約とした根拠が不明確であった。

【美術館】

7. 契約事務の適正な執行について

会議録作成支援音声認識 ASP サービス業務委託契約において、次のような不適切な事務処理が見られた。「地方自治法施行令」及び「網走市契約に関する規則」等の関係法令を遵守し、適正な契約事務の執行に努めること。

- ① 単価による指名競争入札を行っているが、指名通知の際に予定数量を示していなかった。

なお、予定価格を単価で定める場合においても、予定単価に予定数量を乗じた「見込み総額」を明示すべきであり、予定価格調書省略の可否、指名委員会開催の要否、金額に応じた決裁権者の専決区分等についても、見込み総額をもって判断すべきものとする。

【議会事務局】

その他意見

上記指摘等事項とは別にその他監査意見として、口頭又は文書による指導等を行った。

1. 注意事項 2件
2. 意見・要望 2件

8. 監査結果に関する意見

依然として過去の監査で指摘していたものと同様の不適切な事案が多く見受けられた。

その要因として、関係法令や制度の認識不足、誤ったままの前例踏襲による事務処理や単純な事務処理誤り、チェック体制の不備などが考えられる。行政業務の多様化などにより、職員負担が高まる中、適正な事務を執行するためには、研修などによる関係法令や事務規則に関する職員の知識の習得と理解が不可欠である。

また、事務処理誤りを防ぐためには、日頃より事前に予防する体制が重要であり、複数による確認体制づくりが重要となる。

今回の監査結果等をあらためて認識したうえで、同様の指摘事項が発生することがないように管理監督者の確認・指導を徹底され、適正な事務執行に努めるとともに、円滑で効率的な業務の執行が図られることを期待する。

網 監 査 第 32 号

令和 7 年 1 月 29 日

網走市長 水谷 洋一 様

網走市議会議長 平賀 貴幸 様

網走市教育長 岩永 雅浩 様

網走市監査委員 藤原 誉 康

網走市監査委員 栗田 政 男

定期監査（学校）の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 9 項の規定に基づき、令和 6 年度に実施した定期監査（学校）の結果に関する報告を別紙のとおり提出します。

令和6年度

定期監査結果報告書
(学校監査)

網走市監査委員

令和6年度 定期監査（学校）結果報告

1. 監査の対象

◎教育委員会

○学校関係 南小学校、潮見小学校、第一中学校、第三中学校

2. 監査の期間

令和6年10月29日から令和7年1月21日まで

3. 監査執行者

網走市監査委員 藤原 誉 康

網走市監査委員 栗田 政 男

4. 監査の対象年度等

令和5年度を対象年度とした。また、事務に関連する場合は、令和4年度以前の実績等も参考とした。

5. 監査の主眼

会計や財務、備品等の使用及び管理に関する業務の執行について、適正かつ合理的、能率的に行われているかという点を主眼とし、各会計の状況、財産及び物品の取得、使用及び管理の状況、公金及び現金の取扱い状況、諸帳簿等の整備状況等について監査を実施した。

6. 監査の方法

監査にあたっては、学校教育課を通して関係資料の提出を求め、これらの書類を審査するとともに、関係職員より事務事業の執行状況及び内容について説明を受けるほか、必要に応じ監査当日に現地確認を実施するなどの方法により監査を行った。

7. 監査の結果

会計事務及び業務管理に関わる監査項目の執行状況については、概ね適正に処理されていることが認められた。